

ととるざわ

はじめてものがたり



平成23年は、所沢が「航空発祥の地」としてちょうど100周年にあたるということで、さまざまなイベントが開催され、あらためて市を誇りに思える年となりました。さらに市内を見渡すと、実はまだまだ「発祥の地」や「日本初」となるものがたくさんあることに気づきました。

そこで、所沢が誇る「はじめて」のものを皆さんにまとめてご紹介します。ぜひこれを機会に所沢を調べてみてはいかがでしょうか。新たな発見に出会えるかもしれませんよ。

☎広報課 2998-9024 ☎2994-0706

フルーツの製作

大正12年（1923）、(株)村松フルーツ製作所・創業者の村松孝一が、日本で初めてフルーツを製作。すべてのフルーツに「TOKOROZAWA」の文字が刻まれています。

日本初



年始初

所澤神明社の熊手市

毎年、年明けと共に行われる縁起物の熊手市は、全国で一番早く開催されます。

世界初

卓球用ラケットのハイテンション・ラバー「ブライス」の発売

平成9年（1997）、(株)タマス（所沢事業所）が、卓球用ラケットのハイテンション・ラバーを世界で初めて発売しました。その実力は世界卓球選手権大会優勝者も使用するほどです。



商業教育発祥の地

明治31年（1898）、「共立英和学舎」（私塾）として創立し、大正4年（1915）、中等商業学校（私立所沢実務学校）となったのが、埼玉県初の商業教育です。戦後、商業科を併設した「県立所沢高等学校」となりましたが、昭和46年（1971）、商業科は新設の「県立所沢商業高等学校」に引き継がれ、普通科のみの高校となりました。

埼玉県初



日本初

埼玉県立芸術総合高等学校

平成12年（2000）、芸術学科だけによる総合高校は日本初。今でも、映像芸術科、舞台芸術科を有する4学科の芸術系高校は全国唯一。

西武球場前駅

日本初



保健所発祥の地

昭和12年（1937）、東京・京橋に「都市保健館」と所沢（近）に「農村保健館」が建てられました。農村保健館を開設し「健所」に改称されました。昭和39年（1964）には、けやき台22年に狭山保健所に統合されるまで業務を行いました。

（写真右は所沢駅東口にある「わが国保健所発祥の地」、中ある長者久保公園内にある「農村保健館跡」、左はけやき台にある（現在は廃止）「保健所発祥之地」の3つの碑がありま

まだまだあった「ところざわはじめてものがたり」

◆日本初

- ▶世界中の子どもたちと記録を競い合うことができるデジタル遊具「スマータス」の導入（所沢航空記念公園／平成23年）
- ▶イタリア発のキャンドルアート「ステラ フォレスターレ」（西武園ゆうえんち／平成23年）

◆私鉄初 西武池袋線池袋駅 - 所沢駅間の10両編成運転（昭和38年）

◆狭山茶の生産者初 天皇杯受賞（新井園本店／平成8年）

◆姉妹都市の締結が県内初 ディケイター市（米国・イリノイ州／昭和41年）

◆所沢市が全国自治体初

- ▶ダイオキシン規制条例（平成11年）
- ▶市民カメラマン制度（平成17年）
- ▶空き家条例（平成22年）
- ▶ホームページ多言語翻訳の音声読み上げ（平成22年）

